

「 「 「 「

「 「 ☆高速道路会社の取り組み

.....

◆◆◆高速道路は地域づくりのプラットフォーム—地域共創の取り組み—◆◆◆

(西日本高速道路株式会社)

当社では、多様化する地域社会のニーズに貢献し、地域創生を目指す取り組みとして、地域共創活動に取り組んでいます。

高速道路を活用して地域に新しい魅力を作り続ける「地域づくりのプラットフォーム」を目指してまいります。

「 「 「 「

「 「 ☆訴訟事例紹介

.....

◆◆◆歩道上に設置されたツリーサークルの損傷で転倒し負傷した事故について、国家賠償法2条1項に基づき損害賠償請求がなされた事例◆◆◆

(令和4年3月23日福岡地方裁判所第2民事部判決)

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

【事案の概要】

歩道上に設置されたツリーサークルの損傷で転倒し負傷した事故について、上記ツリーサークルの設置・管理に瑕疵があるとして、国家賠償法2条1項に基づき損害賠償請求がなされた事例

(令和4年3月23日福岡地方裁判所第2民事部判決)

【判決要旨】

争点1 ・本件ツリーサークルは通常有すべき安全性を欠き、何ら安全確保のための措置がとられていなかったことから、管理に瑕疵がある。

・被告は維持管理業務の状況から本件ツリーサークルの損傷を発見し修繕することは困難であった旨主張するが、ツリーサークルの損傷はパトロール時に発見すべき事項とされていること、損傷の大きさや可視状況から、瑕疵を否定する理由に足るものではない。

争点2 ・(略)

- 争点3 ・原告は本件ツリーサークルが破損していたことについて認識していた。
- ・歩行者が歩行に際して足元に注意を払うことは歩行者としての基本的な注意義務であり、かつ、容易なものであって、わずかな注意を払えば容易に事故を回避できたといえるから、原告の過失割合は相当程度大きなものといえ、7割とするのが相当である



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取組み事例



★一般国道2号 東広島・安芸バイパス全線開通★・*:.。

～計画から半世紀、都市と都市・人と人・未来への夢を繋ぐ道路が開通しました～

(中国地方整備局 広島国道事務所)

一般国道2号のうち、広島県東広島市から広島市を結ぶ区間においては慢性的な交通渋滞や交通事故等による一時的な通行止めが日常生活や経済活動の大きな支障となっていました。こうした問題などの解決を目的とした東広島・安芸バイパスが、都市計画決定から半世紀の時を経て、令和5年3月19日に全線開通しました。

本稿では、東広島・安芸バイパスの事業概要や開通式典、全線開通による整備効果等について紹介します。



★春日部駅付近の鉄道高架で踏切ゼロ!の推進★°・*:.。

(埼玉県 県土整備部 道路街路課)

埼玉県では、令和元年度から東武鉄道伊勢崎線・野田線（春日部駅付近）連続立体交差事業に着手しています。

この事業は、春日部駅を中心に東武鉄道伊勢崎線を約1.4km、東武鉄道野田線を約1.5kmにわたり高架化するもので、10箇所の踏切が除却されます。

この事業の実現により、都市交通が円滑化されるとともに、地元自治体である春日部市が周辺まちづくりを進めることで、地域の活性化や中心市街地の一体化が図られます。

本稿では、この連続立体交差事業の取組状況について御紹介します。



★和光市版スーパーシティ構想★°・

～自動運転技術で市民の移動の自由を確保～

(埼玉県 和光市建設部公共交通政策室)

和光市では、地域公共交通が行き届かず移動に不便な地域が市の北側に多く存在するとともに、ドライバー不足についての影響も徐々に始まっています。今後、高齢化社会が進み地域公共交通への需要が高まるなか、「いかに交通弱者を含む市民の移動の自由を確保するか」という課題を解決するため、拠点間のスムーズな移動が行えるよう、時間軸での都市のコンパクト化を図ることを目指しています。本稿では、スーパーシティ構想及び自動運転サービス導入事業の概要等についてご紹介します。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆編集後記

.....

旅先で立ち寄った道の駅に、赤色でフキのようなセロリのような形状をした野菜(?)が販売されていました。品名には「ルバーブ」との表示があり、ジャムのレシピが貼られていたので、購入してみることにしました。

初めて手にしたルバーブ。調べてみると、ヨーロッパでは定番の食材であり、また、健康への意識が高い人たちの間では有名な食材であることがわかりました。ビタミンC、カリウム、葉酸、アントシアニンがたっぷりと含まれており、整腸作用、むくみの改善、肌の調子を整えるといった効果が期待できる野菜とのこと。加熱すると溶ける性質を有し、砂糖との相性が良いことから、ジャムに向いているそうです。

ルバーブを2cm程度に切り、アク抜きのために30分程度水にさらします。水気を切り、グラニュー糖をまぶして30分程度置いたのち、攪拌しながら15分程度過熱します。最後にレモン汁を入れて完成です。加熱の途中、草のような香りがしたので、不安になりましたが、程よい酸味がクセになる、鮮やかな赤色のジャムが完成しました。

今年で30周年を迎えた道の駅。機会は多くないものの、訪れるたびに進化していると感じます。従前は、観光案内や休息のために利用するイメージを有する施設でしたが、今では目的地になることも多く、地域の特色を生かしたさまざまな特産品の販売など、新たな発見があり、とてもワクワクする場所です。この度訪れた道の駅には、パン・蕎麦・ラーメンなどの専門店、レストラン、甘味処など多くの飲食店がありました。また、アスレチック施設などのアクティビティも充実しているようで、駐車スペースを見つけるのに苦労するほど、多くの方が訪れていました。最近では、地方創生・観光を加速する拠点、広域的な防災拠点

に位置づけられているところなども増えているようなので、さらなる進化にも期待しているところではあります。

またどこかの道の駅を訪れる際には、まだ知らないご当地食材や名産品を探してみたいと思います。(U)